2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	選択　ショップ会計の基礎知識			履修区分	必修	(選択)
受講対象	2年生　全コース	授業形態	(講義)	実習	演習	見学
開講時期	5月～10月	時間数	60		単位数	2
授業概要	店舗運営に必要な販売事務や計数管理の基礎を知ることは、経営者のみでなくスタッフにも必要である。簿記の基本を理解する。 授業期間中に、ビジネスゲームを2回行う。	到達目標	決算書を読む力を身に付け、原価意識や利益獲得への意識を高めることが目標である。			
担当教員 プロフィール	武石美則　日本販売士協会認定登録講師。販売事務・計数管理の基礎をわかりやすく解説、授業展開を行う。コンサルティング会社代表取締役であり、経営コンサルティング及び役員・社員向けのビジネスリテラシーの講師を行う。簿記1級・販売士1級取得。					
テキスト･教材	TAC出版「みんなが欲しかった！簿記の教科書　日商3級商業簿記」、自作プリント　電卓					
成績評価方法	筆記試験70%　レポート0%　実技0%　発表10% その他（出席率・授業態度など）20%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	5/27火 AM	簿記の意義と仕組み	簿記の意義、簿記の基礎 財務諸表(貸借対照表・損益計算書)	講義
2	6/3火 AM	仕訳と転記 仕訳帳と元帳	勘定、取引の意義と種類、取引８要素と結合関、仕訳と転記 帳簿の種類、仕訳帳へ記入、仕訳帳から総勘定元帳への転記	講義
3	6/10火 AM	決算	決算の意義と手続き、試算表の作成 帳簿の締め切りと財務諸表の作成、決算手続きと精算表	講義
4	6/17火 AM	現金と預金	現金、現金過不足、当座預金と当座借越 その他の預金、小口現金	講義
5	6/24火 AM	繰越商品・仕入・売上	３分法のあらまし、諸掛りと返品 仕入帳と売上帳、商品有高帳	講義
6	7/1火 AM	売掛金と買掛金	売掛金と買掛金、前払金と前受金、売掛金元帳と買掛金元帳 売掛金明細表と買掛金明細表、クレジット売掛金	講義
7	7/8火 AM	その他の債権と債務	貸付金・借入金、未収入金・未払金、立替金・預り金 仮払金・借受金、受取商品券、差入保証金	講義
8	7/15火 AM	中間テスト	第１回～第８回の範囲	講義
9	7/22火 AM	受取手形と支払手形	手形の振出しと受入れ、受取手形記入帳と支払手形記入帳 手形貸付金と手形借入金、電子記録債権・債務	講義
10	9/2火 AM	有形固定資産	有形固定資産の取得・売却、減価償却 固定資産台帳、検事決算と月次決算	講義
11	9/9火 AM	貸倒損失と貸倒引当金 資本	貸し倒れの見積と貸倒引当金の設定 株式会社の設立と株式の発行、繰越利益剰余金、配当	講義
12	9/16火 AM	収益と費用 税金	収益・費用の未収・未払と前受・前払 消耗品費と貯蔵品の処理	講義
13	9/30火 AM	伝票	仕訳帳と伝票、３伝票制 伝票から帳簿への記入、伝票の集計	講義
14	10/7火 AM	財務諸表	決算と決算手続き 精算表の作成、財務諸表の作成	講義
15	10/21火 AM	期末テスト	期末テスト　　第9回～第14回　学習範囲	講義

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
フラワービジネス	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	選択　英会話			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	10月～12月	時間数	30		単位数	1
授業概要	英語に慣れ親しむことから英会話の基礎の習得を目指し、生花店や園芸店での接客に必要な会話力を身に付ける。	到達目標	一般的な花の名前を英語で覚えること。 挨拶や接客用語等の日常会話の習得。			
担当教員 プロフィール	Paula Suzuki　TESOL有資格英語講師（イギリス人）。長年にわたり大手英会話スクールで講師としてのキャリアを持つ。現在、私立大学の英会話授業非常勤講師、子供向け英会話講師など幅広く活動。					
テキスト･教材	テキスト「Life 1」（プリント）					
成績評価方法	筆記試験10%　レポート70%　実技10%　発表10% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	10/31金 AM	Introductions Floristry 1	be verb, intro vocabulary Flower & plant names	講義
2	11/7金 AM	The World Floristry 2	countries, travel vocabulary Floristry phrases	講義
3	11/14金 AM	About me Floristry 3	can, like, hobby vocabrarly Floristry phrases	講義
4	11/21金 AM	Daily life Floristry 4	present simple/continuous life vocaburaly Floristry phrases	講義
5	11/28金 AM	Famous people & stories Floristry 5	past simple Floristry phrases	講義
6	12/5金 AM	The weekend Floristry 6	present continuous Floristry phrases	講義・演習
7	12/12金 AM	Review & presentations	Review of previous lessons material	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
フラワービジネス	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回（2コマ）180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	選択　いけばなの基本（小原流）			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	10月～1月	時間数	32		単位数	1
授業概要	花の姿のとらえ方、間の取り方、枝葉のつくり方と整理の仕方など、活け始める前の段階から構築の方法と考え方を学び、華道の奥深さとフラワーデザインとの違いを学ぶ。	到達目標	日本の伝統文化を歴史と実技をもって理解し、8回の授業を通して、小原流初等科の免許状取得を目指す			
担当教員 プロフィール	知地正和	小原流研究院助教授として、国内外で数多くのデモンストレーションや指導を行う。 元大手生花・園芸企業所属。庭づくりの設計・施工のみならず、舞台装飾や商業施設のディスプレイも手がけ、インテリアグリーンやフラワーアレンジにも精通。いけばなの知識・技能をどのように実務で活かしていくかを実践とともに伝える授業を展開。				
テキスト･教材	学校用教本「いけばなの基本」					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技100%　発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	10/31金 ＰＭ	歴史・いけばな実践①	いけばなの歴史 たてるかたち　かたむけるかたち	講義・演習
2	11/7金 ＰＭ	いけばな実践②	たてるかたち かたむけるかたち	演習
3	11/14金 ＰＭ	いけばな実践③	ひらくかたち ならぶかたち	演習
4	11/28金 ＰＭ	いけばな実践④	まわるかたち たてるかたち（瓶）（正月）	演習
5	12/12金 ＰＭ	いけばな実践⑤	かたむけるかたち（瓶） 傾斜型　２種	演習
6	12/19金 ＰＭ	いけばな実践⑥	直立型　２種 自由表現	演習
7	1/9金 ＰＭ	いけばな実践⑦	自由表現 傾斜型　２種	演習
8	1/23金 ＰＭ	いけばな実践⑧	瓶花　２種 瓶花　２種	演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
フラワーデザイン 花の文化	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	選択　園芸福祉			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	11月～1月	時間数	30		単位数	1
授業概要	園芸福祉の基礎概念を理解する 園芸療法で用いる手法を理解する 各専門領域との関連性を学び、活用法を検討する	到達目標	園芸家として福祉を理解し、植物の効果的活用方法を習得する			
担当教員 プロフィール	毛利ユカ　日本園芸療法学会 専門認定登録園芸療法士　いばらき園芸療法研究会 代表　園芸療法みどりの会 顧問　1999年から医療福祉施設や教育機関にて園芸療法（専門は高齢者）を指導。園芸療法の講演、ワークショップ、スーパーバイズなど園芸療法の啓蒙普及活動を行っている。施設での指導経験をもとに、園芸療法の理論と実践をわかりやすく指導する。					
テキスト･教材	自作プリント					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート30%　実技10%　発表50% その他（出席率・授業態度など）10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	11/4火 AM	植物を介在した 人間関係・空間づくり	自然や環境、植物がもたらす効果　実習：押し花づくり 農園芸活動の効果　アトモスフィアの重要性と体験 ワーク：アトモスフィアを提案してみよう	講義・演習
2	11/25火 AM	植物利用法	植物を利用したクラフト活動の実際　実習：芝人形作り プログラミング技法①　ワーク：レシピづくり	講義・演習
3	12/2火 AM	園芸福祉と園芸療法	歴史・適用範囲・対象・事例 実習：植物と銅板のクラフト	講義・演習
4	12/9火 AM	専門領域と園芸福祉	プログラミング技法② 実習：ポットマン	講義・演習
5	12/16火 AM	園芸福祉と障碍体験	教育・支援・ケアの観点から園芸を考える ワーク：障碍体験	講義・演習
6	1/20火 AM	植物を介在した援助手法	ロールプレイ技法 実習：押し花バッグづくり	講義・演習
7	1/27火 AM	本科目の総括	プレゼンテーション実践 ワーク：発表	講義・演習
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	選択　ガーデンデザイン			履修区分	必修	(選択)
受講対象	2年生　全コース	授業形態	(講義)	実習	演習	見学
開講時期	10月～1月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	いろいろなタイプのガーデンスタイルを知り、そのデザイン法、図面の描き方、施工法、メンテナンス法などを理解する。	到達目標	オリジナルガーデンデザインの作成 平面図、アクソメ、見積書の作成法を学び、完成を目指す。			
担当教員 プロフィール	鈴木靖子　元大手園芸用薬品類製造販売企業勤務。現在はフリーランスのグリーンアドバイザー・ガーデンデザイナーとして、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その実績をもとに、ガーデン設計・図面の書き方のノウハウについて指導する。					
テキスト･教材	自作プリント　テンプレート　三角スケール　三角定規　コンパス　カラーマーカー					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0%　レポート0%　実技80%　発表0%　その他（出席率・授業態度など）20%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	9/29月 AM	ガーデンデザインの基本知識	樹木・植物の平面図	講義・演習
2	10/6月 AM	ガーデニングに必要な植物と資材	資材類の平面図	講義・演習
3	10/20月 AM	地割りの練習	平面のスペースデザイン	講義・演習
4	10/27月 AM	平面図作成の練習①	平面のガーデンデザイン	講義・演習
5	12/1月 AM	平面図作成の練習②	平面のガーデンデザイン	講義・演習
6	12/8月 AM	パース作成の練習①	アクソメの描き方	講義・演習
7	12/15月 AM	パース作成の練習②	一消点図の描き方	講義・演習
8	12/19金 AM	庭のカラーコーディネート①	図面の彩色	講義・演習
9	1/19月 AM	庭のカラーコーディネート②	図面の彩色	講義・演習
10	1/26月 AM	オリジナル図面の作成①	プランニングと平面図の完成	講義・演習
11	2/2月 AM	オリジナル図面の作成②	アクソメと彩色図面の完成	講義・演習
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
ガーデニング 園芸実習	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	選択　国内特別研修			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	7月	時間数	30		単位数	1
授業概要	日本で開催される大阪万博を通して、国内外の文化や未来社会とSDG'sについて学習する。また、大阪城見学含む市内観光を楽しみながら、学友との親交を深める。	到達目標	万博会場内の植栽も含め各国パビリオンの見学、また大阪城公園の見学を通して植物や自然に関する知識の幅を広げる。			
担当教員 プロフィール	本校 常勤職員　フラワーデザイン・グリーンデザインの基礎を学び、資格を取得していることから、大阪城公園など見学先で植物に関する解説を行い、また、引率者として旅行中の安全を図る。					
テキスト･教材						
成績評価方法	筆記試験0%　レポート100%　実技0%　発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	7/24	大阪万博2025見学	各自が選んだパビリオンの見学	講義・見学
2	7/25	大阪市内観光	大阪城と大阪城公園を中心に観光	講義・見学
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回を1日(10時間)と換算する

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　園芸装飾			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～11月	時間数	20		単位数	0.5
授業概要	主として観葉植物を室内空間で効果的に使うための、知識・技術を身に付けることを目的とする。併せて環境緑化の必要性も理解する。	到達目標	室内空間を飾る材料としての代表的な観葉植物の植生や葉の形・色を知って、それらを効果的に組み合わせる方法を習得する。			
担当教員 プロフィール	狩野歩　大学・専門校で園芸を学び、インドアガーデンや造園・貸植木の会社で実務経験を積む。現在は、おもに植栽関連の仕事に従事。園芸装飾技能士1級・職業訓練指導員免許を持つ。豊富な実務経験をもとに、より実践的な指導で授業を展開。					
テキスト･教材	園芸装飾必携　園芸装飾技能検定実技試験ガイドブック　プリント					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート50%　実技40%　発表0% その他（出席率・授業態度など）10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	9/5金 ＰＭ	園芸装飾の知識	園芸装飾について ミニインドアガーデンを制作	講義・演習
2	9/12金 ＰＭ	インドアガーデンについて①	インドアガーデン制作にあたる考え方や手順・注意 中型インドアガーデン制作	講義・演習 2班に分ける　A班
3	9/19金 ＰＭ	インドアガーデンについて①	インドアガーデン制作にあたる考え方や手順・注意 中型インドアガーデン制作	講義・演習 2班に分ける　B班
4	10/3金 ＰＭ	インドアガーデンについて②	インドアガーデン・コンテナディスプレイによる装飾 中型インドアガーデン制作	講義・演習 2班に分ける　A班
5	10/10金 ＰＭ	インドアガーデンについて②	インドアガーデン・コンテナディスプレイによる装飾 中型インドアガーデン制作	講義・演習 2班に分ける　B班
6	10/17金 ＰＭ	植物の育成・管理	見学：赤坂ARK　Hills	見学
7	10/24金 ＰＭ	技能検定について	園芸装飾技能士3級について（デモンストレーション）	講義・演習
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
資格取得　園芸装飾技能士3級 グリーンコーディネート	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回（2コマ）180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　ハーブの利用			履修区分	必修	(選択)
受講対象	2年生　全コース	授業形態	(講義)	実習	(演習)	見学
開講時期	5月～7月	時間数	16		単位数	0.5
授業概要	ハーブの長い歴史から、ハーブが世界でどのように人々の生活の中で利用され、浸透してきたかを学ぶ。また、ハーブの育て方、ハーブの活用法を実習を通して習得する。	到達目標	「ハーブとは何か？」を説明できるようになる。ハーブの種類と活用別分類を理解する。代表的なハーブについて生活の中での活用法を学ぶ。ハーブを育てられるようになる。			
担当教員 プロフィール	国吉純　園芸関連イベント等での講師をはじめ、住宅関連企業、集合住宅等で家庭園芸の普及活動を続けてきた経験から、「楽しく簡単に華やかに育てる」をモットー に年齢や場所に関係なく植物と触れ、育て、楽しめるガーデニング、植物選び、メンテナンス法などの指導を講義・演習する。					
テキスト･教材	「園芸・植物用語集」　自作プリント					
成績評価方法	筆記試験5%　レポート20%　実技10%　発表10% その他（出席率・授業態度など）55%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	5/15木 ＰＭ	ハーブの概要と歴史 ハーブの利用法	ハーブとは何か？歴史から学ぶハーブの魅力 演習：モイストポプリ　ハーブティー　（ローズマリー）	講義（テキスト） 演習
2	5/22木 ＰＭ	ハーブの種類と分類 種まき・挿し木・さし穂	ハーブの種類と活用別分類を学ぶ 演習：ハーブの種まき、挿し木　（バジル）	講義（テキスト） 演習
3	7/10木 ＰＭ	ハーブの香り（アロマ）の効果と活用法	アロマテラピーとは？ 演習：ドライフラワーを利用したクラフト	講義（テキスト） 演習
4	7/17木 ＰＭ	世界のハーブ、ハーブ療法	庭や菜園におけるハーブの利用　人とハーブ 演習：ハーブチンキ	講義（テキスト） 演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
グリーンデザイン	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(1コマ)90分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　四季のコンテナガーデン			履修区分	必修	選択
受講対象	２年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	5月～１月	時間数	16時間		単位数	0.5
授業概要	植物の生育と育てる王道を特化し、トレンドとなりうるコンテナガーデンを作成し、環境と四季の季節感をアピールする。国内外のＮＥＷアイテムも導入する。	到達目標	メンテナンスも含め、飾るということ、商品としての完成度を指導。 併せて、植物の基礎知識を土台として土壌・肥料なども含め、応用性の強化を目指す。			
担当教員 プロフィール	鈴木路子	大手種苗会社で店頭販売、外商、グリーンコーディネート、フラワーデザイン、フラワービジネスの講師とデモンストレーションを経験後フリーコーディネーターとして独立しテクノ・ホルティ園芸専門学校をはじめ多数の学校で講師として後進の指導にあたり、グリーンコーディネーターとしても業界の第一線で活躍中。（社）日本家庭園芸普及協会　グリーンアドバイザー　認定講習講師。ユーキャン　ガーデニング講座講師　著書は、「四季の花辞典」など多数執筆。				
テキスト･教材						
成績評価方法	筆記試験50%　レポート50%　実技0%　発表0% その他（出席率・授業態度など）0% ※レポート提出遅れは-10点とする。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	5/26月P	シーズンタイミングの寄せ植え 華やかさのあるギャザリング	ベランダガーデニング 春～夏においてのギャザリング（草花・ハーブ類使用）	講義・演習
2	7/23水P	盛夏のウォールバスケット カラーバリエーション	カラーリーフの効果によるシェードガーデンスタイル （リングリース使用）	講義・演習
3	10/27月P	ファザードガーデンスタイル 高さのあるコンテナガーデン	迎えるをテーマに植物をチョイス 立体的に表現する寄せ植え	講義・演習
4	1/26月P	スパイラルトピアリー制作	シルエットイメージをデザインする カッティングで樹形を制作	講義・演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
花と緑の商品知識 グリーンデザイン 園芸実習	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　盆栽・山野草の楽しみ方			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	10月～11月	時間数	16		単位数	0.5
授業概要	「花と緑の商品知識」で学んだ基礎知識を発展させて鑑賞から盆栽づくりまで、そのポイントと具体的な技術について講義と実習を行う。	到達目標	盆栽に使われる植物の種類と、それぞれの特性・鑑賞ポイントを理解することを、目標とする。			
担当教員 プロフィール	山本裕隆　元高木伝統園芸文化振興財団学芸員。 自然環境知識や盆栽技術を生かした庭園づくりを行う造園業を営む。 そのかたわら市民団体の自然観察会の講師も務める。					
テキスト･教材	自作プリント　DVD「美の壺・盆栽」					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技15%　発表5% その他（出席率・授業態度など）80%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	10/1水 ＰＭ	盆栽・山野草の文化的価値解説	テキスト説明　・　ＤＶＤ鑑賞	講義
2	10/16木 ＰＭ	盆栽・山野草の作品解説	春花園BONSAI美術館　見学	見学
3	10/23木 ＰＭ	盆栽制作と管理方法講習	作品制作に向けて作業解説	講義
4	10/30木 ＰＭ	作品制作体験	1人1作品制作 植物と鉢の調和、植え付け方法など学ぶ	演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
花と緑の商品知識	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　ボタニカルアートⅠ			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	８月	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	ボタニカルアートの制作	到達目標	植物をよく観察し、スケッチ・転写を経て透明水彩絵の具による彩色を行い、作品を仕上げる。			
担当教員 プロフィール	神利子　植物画家。NHK文化センター講師、産経学園講師。ボタニカルアートの細密で美しく繊細な中に宿る生命力と自然がもたらす芸術、そして何より描く楽しさを知ってもらうため20年前より各所で指導を開始。指導と並行し毎年、銀座で展覧会を開催するなど精力的に活動中。					
テキスト･教材	透明水彩絵の具　画材　ほか					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技80%　発表0% その他（出席率・授業態度など）20%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	8/26火 ＰＭ	ボタニカルアートの作成①	ボタニカルアートとは？ 花の観察とスケッチ	講義　演習
2	8/27水 ＰＭ	ボタニカルアートの作成②	彩色	演習
3	8/28木 ＰＭ	ボタニカルアートの作成③	仕上げ	演習
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　ボタニカルアートⅡ			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年　Ⅰを受講済みの学生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1月	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	ボタニカルアートの制作 ボタニカルアートⅠを受講済みなのでより正確に描く。	到達目標	植物をよく観察し、スケッチ・転写を経て透明水彩絵の具による彩色を行い、作品を仕上げ額装して完成させる。			
担当教員 プロフィール	神利子　植物画家。NHK文化センター講師、産経学園講師。ボタニカルアートの細密で美しく繊細な中に宿る生命力と自然がもたらす芸術、そして何より描く楽しさを知ってもらうため20年前より各所で指導を開始。指導と並行し毎年、銀座で展覧会を開催するなど精力的に活動中。					
テキスト･教材	透明水彩絵の具　画材　ほか					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技80%　発表0% その他（出席率・授業態度など）20%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	1/6火 ＰＭ	ボタニカルアートの作成①	季節の花のスケッチ	演習
2	1/7水 ＰＭ	ボタニカルアートの作成②	彩色	演習
3	1/8木 ＰＭ	ボタニカルアートの作成③	彩色と仕上げ	演習
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　植物染色			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	12月	時間数	8		単位数	0.5
授業概要	植物を染料として用い染色を行う。さらに、2種類の媒染剤を使用することでグラデーションに染め上げる。植物が着色剤としても使うことができることを学習する。	到達目標	絹のスカーフまたはストールを染色・媒染・模様付けし、グラデーションに染め上げる。			
担当教員 プロフィール	菅原奈美　女子美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。 植物染色、色彩学を専門とし、天然染料の媒染剤の違いによる染め色の傾向などを研究。					
テキスト･教材	植物染料・助剤等、絹（ストール・スカーフ）、自作プリント					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技20%　発表0% その他（出席率・授業態度など）80%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	12/22月 AM	植物染色の概要、繊維の前処理	植物染色の概要について解説する。染色の準備として、絹繊維の前処理を行う。	講義・演習
2		先媒染および染料の抽出	媒染方法について説明し、先媒染を行う。その後、染料の抽出を行う。	演習
3	12/22月 PM	防染および染色	防染の手順を学び、スカーフ・ストールに模様づけする。 スカーフ・ストールを染色する。	演習
4		後媒染および繊維の後処理	後媒染を行い、媒染剤の違いによる色の変化を体験する。 繊維の後処理を行い、作品を完成させる。	演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(1コマ)90分授業を連続して行う。

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　POPの描き方			履修区分	必修	(選択)
受講対象	1年生　全コース	授業形態	(講義)	実習	(演習)	見学
開講時期	11月～12月	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	販売促進POP広告に必要な知識・スキルを習得し、就業に即応できる技能を養成する。	到達目標	商品や自店の情報を効果的に「伝える」「魅せる」ためのテクニックを習得する。			
担当教員 プロフィール	鐵倉れい子　R・プラン代表。一般社団法人日本POPサミット協会副会長。 POP広告クリエーターとして活動。POP広告制作や商品ディスプレイの実務経験をもとに、フラワーショップでの効果的な販売促進テクニックを指導する。					
テキスト･教材	テキスト（基本マニュアル・ブラックボードPOP）マーカーセット・制作用紙・練習用紙・POPサンプル					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技70%　発表0% その他（出席率・授業態度など）30%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	11/26水 ＰＭ	POP広告作成の基本及び実技練習	POP広告の役割や効果の理解　POPレタリングの習得 色彩・コピーなど制作に必要な項目の理解と習得	講義・演習
2	12/3水 ＰＭ	POP広告の作成	レイアウトの方法 プライスカード（A4）の制作	講義・演習
3	12/10水 ＰＭ	ブラックボードの作成	ブラックボードの利点と役割の理解 ブラックボード（A2）レイアウトの方法・制作	講義・演習
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　パソコン基礎			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～7月	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	基本的なカメラの使い方、植物写真の撮り方、パソコンに写真を取り込んでのレポート作成の基礎を学ぶ。	到達目標	植物写真を撮るための基礎技術、他者にも見やすいレポートの作成方法の習得を目標とする。			
担当教員	野部茜　本校卒業生。高校から写真部に所属し、写真撮影技術の基礎を習得している。 また、理系大学に通いパソコンの基礎技術も心得ている。					
テキスト･教材	自作プリント					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート50%　実技30%　発表0% その他（出席率・授業態度など）20%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	6/18水PM 6/25水PM	写真の技術と撮り方	カメラ機能の説明 スマートフォンと一眼カメラのそれぞれの利点	講義　6/18：Aｸﾞﾙｰﾌﾟ 6/25：Bｸﾞﾙｰﾌﾟ
2	7/2水 AM/PM	室内での撮影演習	室内での撮り方、構図・照明・光の調節	演習　AM：Aｸﾞﾙｰﾌﾟ PM：Bｸﾞﾙｰﾌﾟ
3	7/16水 AM/PM	レポート作成	レポート作成方法	演習　AM：Aｸﾞﾙｰﾌﾟ PM：Bｸﾞﾙｰﾌﾟ
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
フラワービジネス	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(1コマ)90分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　植物写真の撮影技術			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	商業写真と言うジャンルにおける写真の要素を理解し、見やすい写真の制作を目指す。	到達目標	将来、仕事上で役立つ資料制作や広報活動に必要な「人に見せる写真」を意識した技術向上を目標とする。			
担当教員	奥　康正　小原流いけばなの雑誌「挿花」に掲載される作品の撮影など、プロのカメラマンとして活動。カメラの機能を生かした撮影方法や、効果的な演出方法など、SNS全盛の時代に合った「商業写真」の撮影技術を実践を通じて行う。					
テキスト･教材	スマホ用写真アプリ（lightroom）　自作プリント					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技30%　発表30% その他（出席率・授業態度など）40%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1 2	6/5木 AM	写真の基礎	カメラの構造について（シャッタースピード、絞り、ISO感度 レンズ焦点距離、センサーサイズ等） 照明について　背景について（作例を見ながら） スマホ用写真アプリ（Lightroom)の使い方	講義・演習
3 4	6/12木 AM	写真制作の流れ	撮影セットにて撮影現場の疑似体験 被写体の観察（目線を意識）、レンズ焦点の違い、照明での見え方の変化 スマホでの撮影方法・Lightroomの使い方の実習	宿題：各自写真を撮ってくる（被写体自由・構図、光の当たり方、背景を意識した写真）
5 6	6/19木 AM	宿題の講評	宿題の写真を提出・発表 全員で講評　写真のレタッチ	講義・演習
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
フラワービジネス	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(1コマ)90分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　メイクアップレッスン			履修区分	必修	選択
受講対象	１学年　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	1月	時間数	4		単位数	0.15
授業概要	就職活動に際し面接は第一印象が大事である。また、接客業として身だしなみを整えることは必須である。好感をもたれる身だしなみの整え方をプロの美容部員から教わる。	到達目標	就職活動のみならず、接客業に就く者として必要な身だしなみの整え方の基本を身に付けることが目標である。			
担当教員 プロフィール	資生堂ジャパン㈱ 首都圏支社 講師	日本を代表する化粧品会社として、長年にわたり「身だしなみ」としての化粧法を新社会人に向けて指導する活動を続けてきた実績がある。就職活動中の学生や新社会人に向けたプログラムから、社会人としての心構えも合わせて指導する。				
テキスト･教材	自社テキスト					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート0%　実技50%　発表0% その他（出席率・授業態度など）50%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	1/30金 ＰＭ	肌の整え方・メイクの基本 身だしなみの整え方	自分を表現する外見は、第一印象を決める大きな要素。理想の第一印象に近づく為のステップを学ぶ。	講義・演習
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　生花祭壇の制作現場			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	10月	時間数	4		単位数	0.15
授業概要	近年葬儀の装飾として需要が増えている生花祭壇の制作現場を見学してその制作過程を学び、葬儀の仕事について理解を深める。	到達目標	葬儀に関する基本知識や、生花祭壇の制作現場を取り巻く環境や仕事内容を理解すること。			
担当教員 プロフィール	㈱フレシード 社員	2009年10月、葬儀花屋として創業し首都圏を中心に4拠点をかまえ、葬儀装飾花の様々なスタイルにあわせたオリジナルデザインを提案している企業。本校卒業生が多く在籍し、彼らの豊富な経験をもって祭壇制作実演と解説、仕事内容についての説明を行う。					
テキスト･教材	自社プリント					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート100%　実技0%　発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	10/9木 ＰＭ	生花祭壇制作の仕事について 制作実演見学	近年におけるフューネラル業界の動向　祭壇制作実演 花祭壇制作に関わる一連の仕事の流れ　質疑応答	講義　見学
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(2コマ)180分授業。

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　ブライダル装花とテーブルマナー			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	8月	時間数	6		単位数	0.2
授業概要	社会人として必要なマナーの一つであるテーブルマナーをプロの先生の指導のもとに学ぶ。また、披露宴会場の見学とブライダル装花の仕事についても見識を深める。	到達目標	社会人として恥ずかしくないテーブルマナーの知識を身に付けることと、ブライダルフラワーの仕事について理解を深めることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	明治記念館職員	明治記念館宴会サービス部に所属する社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会認定のベテラン講師が、社会人として恥ずかしくない食事の作法を実践的に指導。また、商品開発部装飾課の職員による案内で、会場と制作室の見学を行い、パーティー・ブライダル装花の現状と仕事の流れを解説する。				
テキスト･教材	自社制作によるリーフレット					
成績評価方法	筆記試験0%　レポート100%　実技0%　発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	8/25月 AM・PM	テーブルマナー講習	コース料理をいただきながら、ユーモアを交えた講義で楽しくマナーやエチケットを習得	講義・演習
2		披露宴会場見学	館内の披露宴会場と装花室を見学	講義・見学
3		装花室見学	装花室所属の卒業生によるブライダルの仕事の説明	講義・見学
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	1回(1コマ)90分授業を連続して行う。

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　庭園・植物園見学			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	花の文化やガーデニングで学んだ知識をもとに、都内近郊の庭園や植物園を見学し、植物や植栽、庭園様式について学ぶ。	到達目標	四季折々の庭園を彩る植物を観察し、知識を深めることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	本校 常勤職員　フラワーデザイン・グリーンデザインの基礎を学び、資格を取得。その知識を持って、都内近郊の庭園や植物園の見どころなど解説する。					
テキスト･教材						
成績評価方法	筆記試験0%　レポート100%　実技0%　発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	指導項目	指導内容	備考
1	見学①	都内近郊の庭園・植物園を1ヶ所見学する レポート提出	見学
2	見学②	都内近郊の庭園・植物園を1ヶ所見学する レポート提出	見学
3	見学③	都内近郊の庭園・植物園を1ヶ所見学する レポート提出	見学
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	3か所必須、4か所目からは1ヶ所ごとに2コマ(4時間)ずつ取得時数がプラスされる。

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度　シラバス（授業細目表）

科　目　名	特別講義　イベント見学			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年　全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	12		単位数	0.4
授業概要	花と緑に関わるイベントを見学し、園芸・花業界のトレンドを学ぶ。	到達目標	様々な作品・商品を見ることにより、自らの知識・経験の幅を広げることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	本校 常勤職員　フラワーデザイン・グリーンデザインの基礎を学び、資格を取得。その知識を持って、都内近郊で行われる花と緑に関わるイベントの見どころなど解説する。					
テキスト･教材						
成績評価方法	筆記試験0%　レポート100%　実技0%　発表0% その他（出席率・授業態度など）0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。			

授　業　計　画

回	指導項目	指導内容	備考
1	見学①	花と緑に関わるイベントを1ヶ所見学する レポート提出	見学
2	見学②	花と緑に関わるイベントを1ヶ所見学する レポート提出	見学
3	見学③	花と緑に関わるイベントを1ヶ所見学する レポート提出	見学
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	3か所必須、4か所目からは1ヶ所ごとに2コマ(4時間)ずつ取得時数がプラスされる。

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校